

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年11月13日

 **古河機械金属株式会社**

* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

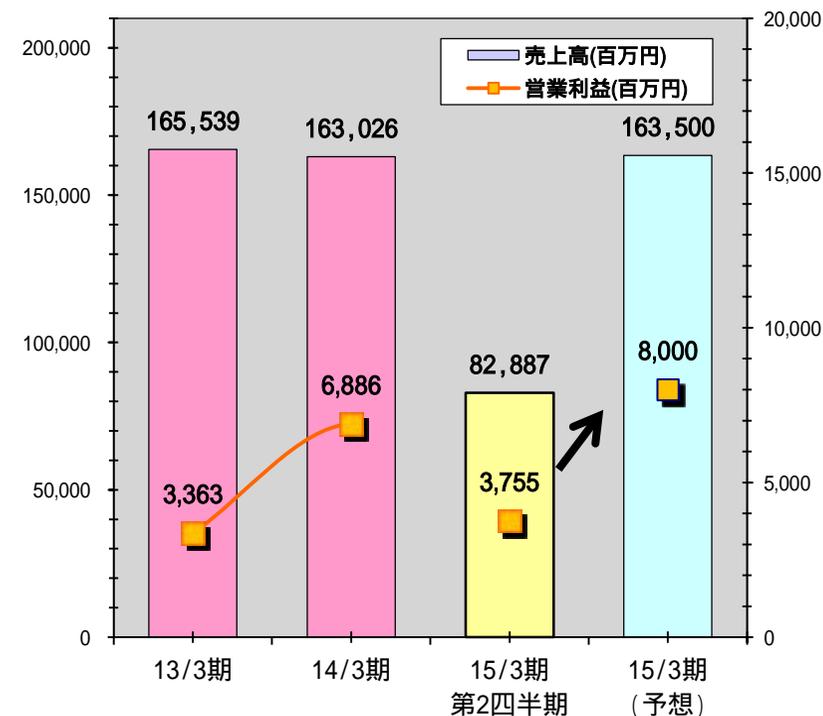
〔業績〕

(単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	14年3月期	15年3月期 予想	対14/3期 増減
売上高	78,557	82,887	4,330	163,026	163,500	473
営業利益	2,769	3,755	986	6,886	8,000	1,113
経常利益	2,468	3,400	932	6,150	6,700	549
当期純利益	1,256	1,927	670	3,976	4,200	223

〔財務状況〕

		14年3月期	15年3月期 第2四半期	対14/3期 増減
総資産	百万円	199,408	206,715	7,306
純資産	百万円	56,313	57,285	972
自己資本比率	%	27.4	26.9	0.5



〔売上高〕 (単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	31,611	35,712	4,100
(産業機械)	(7,439)	(7,798)	(358)
(開発機械)	(12,499)	(14,315)	(1,815)
(ユニック)	(11,672)	(13,599)	(1,926)
金属部門	40,262	39,679	583
電子部門	2,773	3,073	299
化成品部門	3,033	3,017	16
不動産部門	524	1,024	499
その他	351	381	30
合計	78,557	82,887	4,330

		15年3月期 第1,2Q実績	対前年同期増減
銅	価	6,890 \$ / トン	222
為	替	103.0円 / \$	4.2

〔営業利益〕 (単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	1,777	2,694	916
(産業機械)	(521)	(404)	(116)
(開発機械)	(42)	(534)	(576)
(ユニック)	(1,298)	(1,755)	(456)
金属部門	783	690	92
電子部門	27	115	87
化成品部門	139	145	6
不動産部門	95	185	89
その他	38	57	19
調整額	16	18	1
合計	2,769	3,755	986

売上高

営業利益

785億

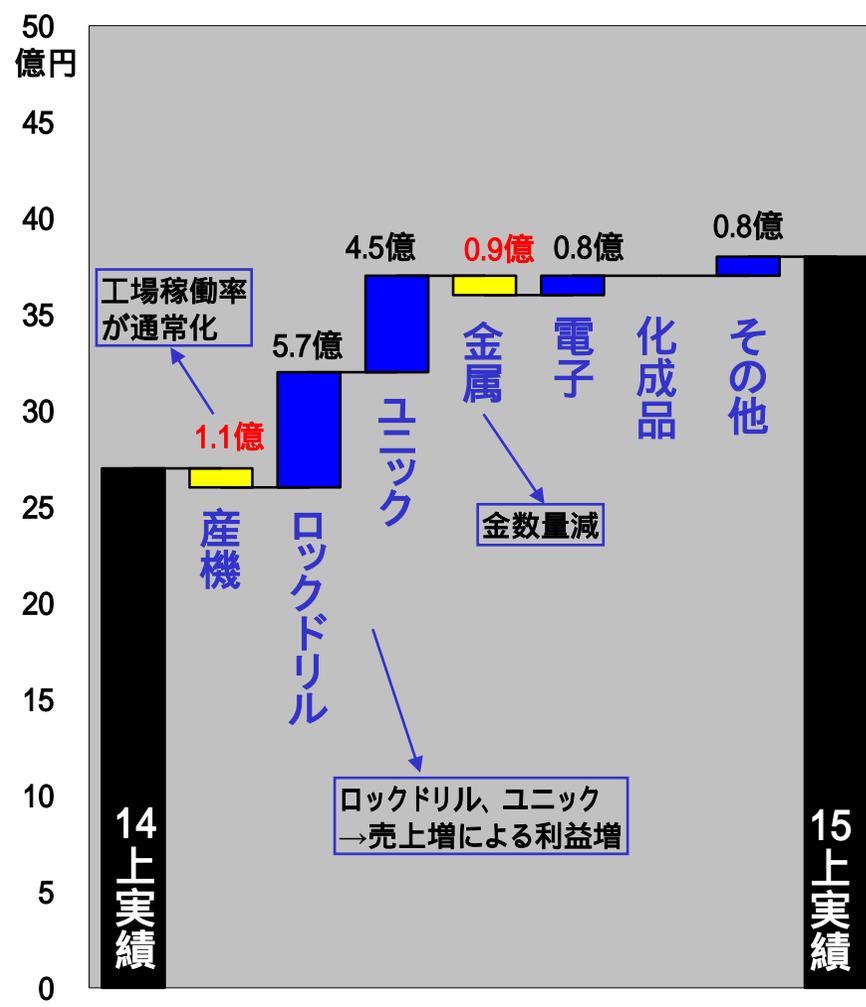
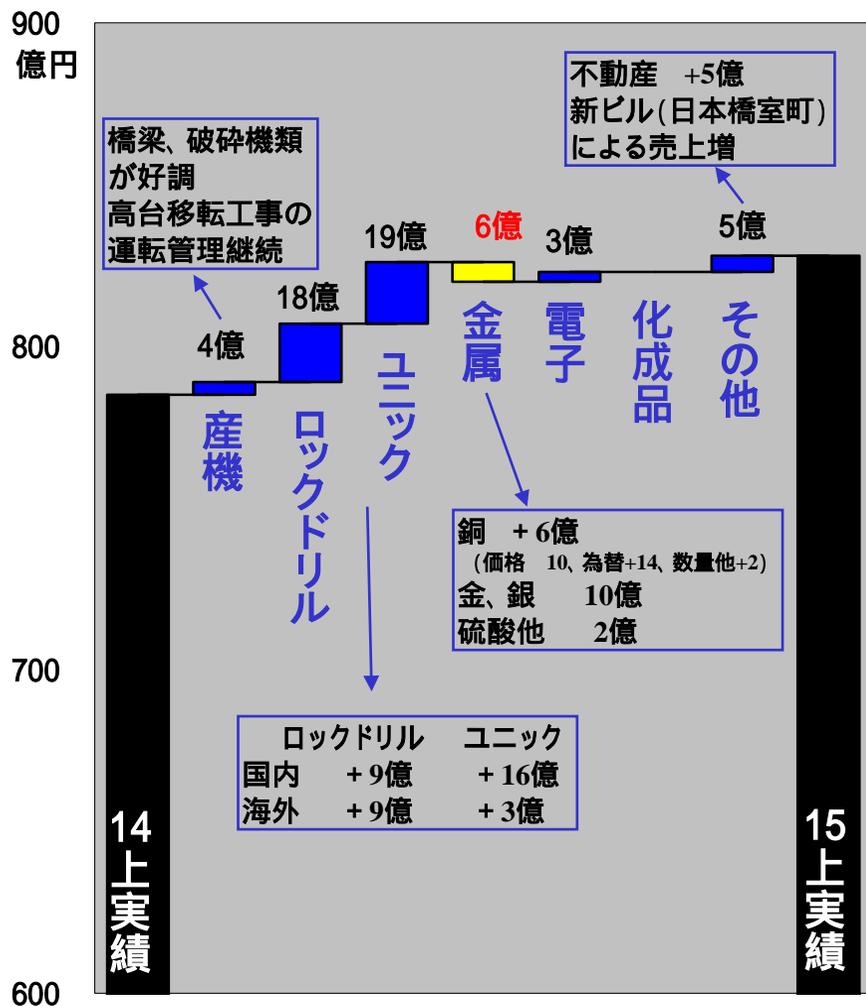
43億増(5.5%増)

828億

27億

10億増(35.6%増)

37億



(単位:百万円)

	14/3月期 第2四半期	15/3月期 第2四半期	対前年同期増減
売上高	78,557	82,887	4,330
売上原価	67,774	70,903	3,129
売上総利益	10,783	11,984	1,200
販売費及び一般管理費	8,013	8,228	214
営業利益	2,769	3,755	986
営業外収益	845	710	134
受取配当金	192	247	54
為替差益	369	-	369
不用品処分益	87	205	118
その他	195	257	61
営業外費用	1,146	1,065	81
支払利息	565	470	94
休鉱山管理費	272	278	6
その他	309	315	6
経常利益	2,468	3,400	932
特別利益	815	1,049	234
受取補償金	718	432	286
事業譲渡益	-	529	529
その他	96	87	8
特別損失	222	106	115
固定資産除売却損	33	35	1
減損損失	186	70	116
その他	1	0	1
税金等調整前当期純利益	3,060	4,344	1,283
法人税、住民税及び事業税	1,532	2,485	953
法人税等調整額	173	126	299
少数株主利益(損失)	98	57	40
当期純利益	1,256	1,927	670

原発事故の風評被害に対する
損害賠償金

パーキングシステム事業売却
による譲渡益

(単位:百万円)

区分	14年3月期	15年3月期 第2四半期	対14/3期増減
資産の部			
流動資産	76,839	83,374	6,535
固定資産	122,569	123,340	771
有形固定資産	87,198	86,212	986
無形固定資産	208	197	11
投資その他の資産	35,162	36,930	1,768
資産合計	199,408	206,715	7,306
負債の部			
流動負債	73,976	69,484	4,491
固定負債	69,118	79,944	10,826
負債合計	143,095	149,429	6,334
純資産の部			
株主資本	50,077	50,549	472
資本金	28,208	28,208	-
利益剰余金	21,917	22,391	473
自己株式	48	50	1
その他の包括利益累計額	4,617	5,086	468
新株予約権	53	53	-
少数株主持分	1,566	1,597	30
純資産合計	56,313	57,285	972
負債純資産合計	199,408	206,715	7,306

たな卸資産の増加等

有利子負債の増加等

利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等

有利子負債

(単位:百万円)

	14年3月期	15年3月期 第2四半期	対14/3期増減
短期	12,748	12,660	88
長期	64,471	73,411	8,940
有利子負債合計	77,219	86,072	8,852

新ビル(日本橋室町)開業に伴う借入増

(連結業績)

(単位:百万円)

	14年3月期	15年3月期 (予想)	対14/3期 増減
売上高	163,026	163,500	473
営業利益	6,886	8,000	1,113
経常利益	6,150	6,700	549
当期純利益	3,976	4,200	223

(前提条件)

	14年3月期	15年3月期 (予想)
銅 価	7,104 \$ / トン	6,830 \$ / トン
為 替	100.2円 / \$	105.0円 / \$

期初予想(5月8日発表)を変更せず

(売上高)

(単位:百万円)

	14年3月期	15年3月期予想	対14/3期増減
機械部門	71,111	70,600	511
(産業機械)	(18,527)	(17,600)	(927)
(開発機械)	(26,842)	(26,700)	(142)
(ユニック)	(25,741)	(26,300)	(558)
金属部門	78,684	77,900	784
電子部門	5,381	5,600	218
化成品部門	6,096	6,200	103
不動産部門	1,013	2,500	1,486
その他	739	700	39
合計	163,026	163,500	473

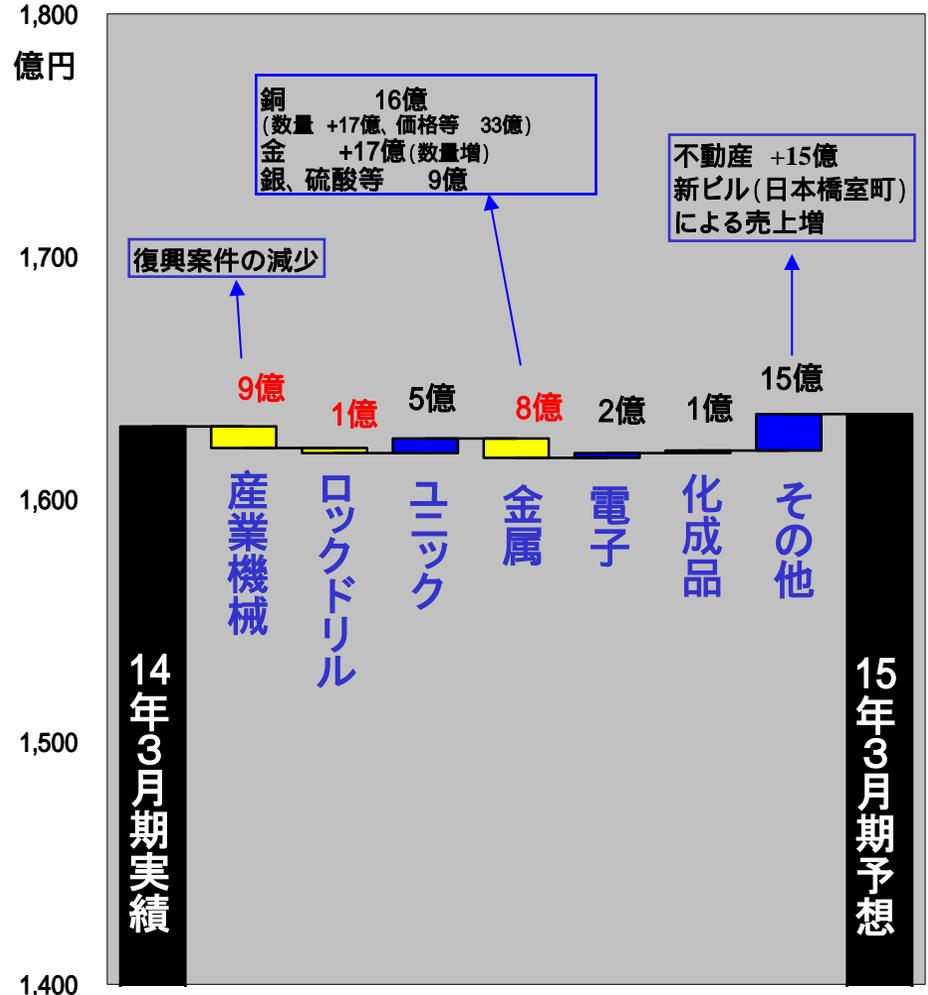
(営業利益)

(単位:百万円)

	14年3月期	15年3月期予想	対14/3期増減
機械部門	5,333	5,600	266
(産業機械)	(1,851)	(1,300)	(551)
(開発機械)	(341)	(1,200)	(858)
(ユニック)	(3,141)	(3,100)	(41)
金属部門	1,503	1,500	3
電子部門	123	150	273
化成品部門	315	330	14
不動産部門	43	600	643
その他	60	110	49
調整額	39	70	30
合計	6,886	8,000	1,113

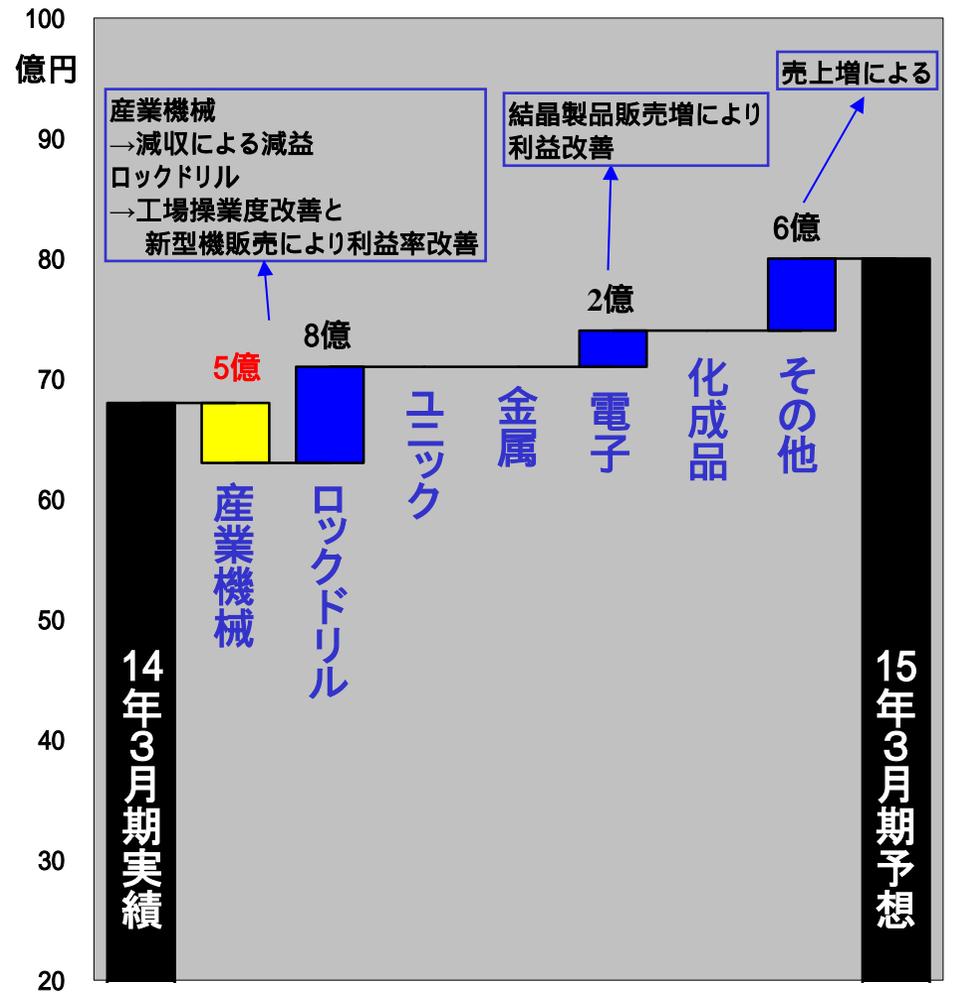
売上高

1630億 → 5億増(横ばい) → 1635億



営業利益

69億 → 11億増(16%増) → 80億



期初予想(5月8日発表)を変更せず

設備投資の状況(連結)

設備投資額	13年3月期	14年3月期		15年3月期	
		(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(通年予想)
機械部門	978	/	1,530	/	2,300
金属部門	386		769		100
電子部門	231		694		400
化成品部門	103		122		200
不動産部門	800		7,769		700
その他	428		543		200
設備投資 合計	2,926		2,575		11,430

日本橋室町東地区再開発事業

減価償却費の状況(連結)

減価償却費	3,014	1,342	2,828	1,603	3,200
-------	-------	-------	-------	-------	-------

研究開発費の状況(連結)

研究開発費	2,558	1,278	2,538	1,168	2,300
-------	-------	-------	-------	-------	-------

金属製品・為替の状況(連結)

		13年3月期	14年3月期		15年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(第3,4四半期想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	356.3	322.6	322.2	312.5	
	\$/トン	7,855	7,112	7,104	6,890	6,770
円相場 対米ドル平均(円/\$)		83.10	98.85	100.24	103.04	107.00
		13年3月期	14年3月期		15年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通年予想)
《古河メタルリソース(株)生産販売》						
銅 生産量(t)		90,387	45,177	87,767	47,044	91,114
銅 販売量(t)		96,789	48,093	94,966	48,219	96,585

従業員の状況(連結)

	12年3月末	13年3月末	14年3月末	14年9月末	対14/3末増減
人員(名)	2,752	2,342	2,413	2,474	61

1875(明治8)年創業以来、当社は銅山事業を出発点に様々な事業を展開、鉱山開発で培われた技術は、現在の事業領域の礎となっています。

古河機械金属技術の系譜



<p>金属事業 古河メタルリソース株式会社</p>  <p>電気銅</p>  <p>純銅</p>	<p>産業機械事業 古河産機システムズ株式会社</p>  <p>スクリューポンプ</p>  <p>粉砕機</p>  <p>搬送機</p>
<p>化成品事業 古河ケミカルズ株式会社</p>  <p>硫酸化銅</p>  <p>酸化銅</p>	<p>電子材料事業 古河電子株式会社</p>  <p>高純度金属工業</p>  <p>コイル</p>
<p>不動産事業 古河機械金属株式会社</p>  <p>不動産</p>	



開発機械事業(ロックドリル事業)
古河ロックドリル株式会社

 トンネルドリルジャンボ	 油圧ローラドリル	 油圧ブレーカ	 油圧圧砕機
---	--	--	---

ユニック事業
古河ユニック株式会社

 ユニッククレーン	 ユニックローラクレーン	 ユニックキャリア	 ユニックバル
---	--	---	---

基本方針

- ・機械事業の技術力強化と更なる海外展開の推進
- ・新製品の事業化に向けた開発の促進

重点施策

機械事業: 復興の本格化、復興道路・リニア中央新幹線・整備新幹線などの交通網整備、国土強靱化計画や2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた土木建設工事等、堅調な国内のインフラ整備需要を取り込み、収益基盤の強化を図る。海外では、より大きな市場が期待できるインフラ整備や鉱山開発等を中心に、将来への基盤づくりを進めていく。

素材事業: 新製品・新素材の早期事業化を図る。

産業機械事業 古河産機システムズ株式会社



シールドポンプ



粉砕機



鋼橋梁

開発機械事業 (ロックドリル事業) 古河ロックドリル株式会社



トンネルドリルジャンボ



油圧クローラドリル



油圧ブレーカ



垂任圧砕機

ユニック事業 古河ユニック株式会社



ユニッククレーン



ミニ・クローラクレーン



ユニックキャリア

当面は機械事業を牽引役として事業を展開

機械事業

4つのキーワード

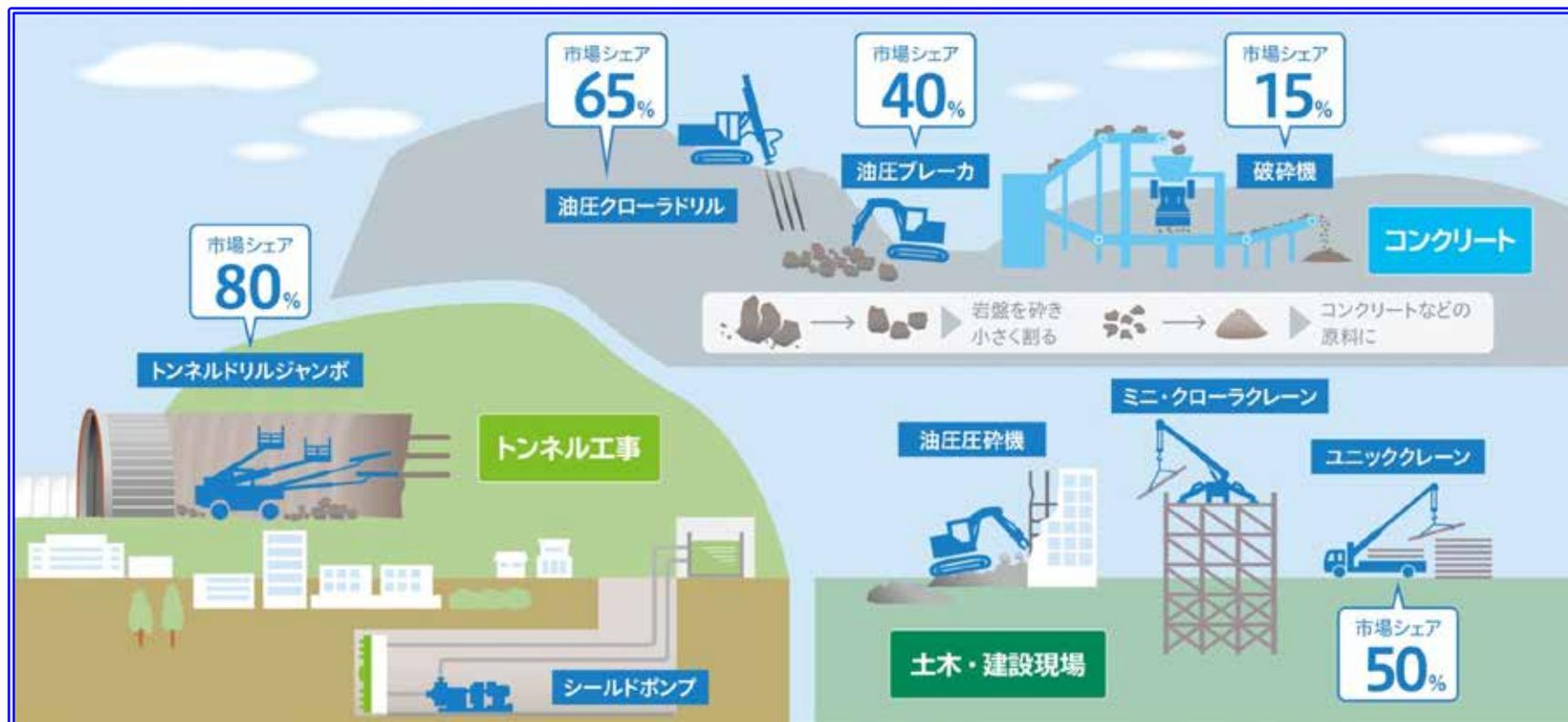
トンネル工事

コンクリート

土木・建設現場

海外

インフラ整備にかかる当社製品群と国内シェア



インフラ整備に使用される当社製品群の実際のムービーがご覧になれます(補足資料参照)

キーワード 「トンネル工事」・・・道路や鉄道のトンネルを掘る



< 山岳トンネル→発破工法 >

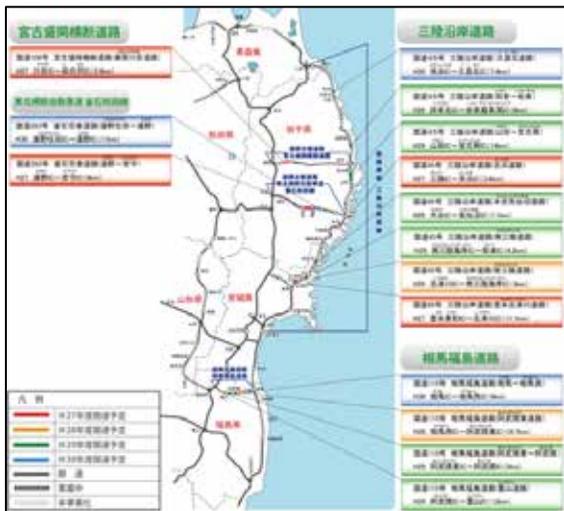
トンネルドリルジャンボ：
岩盤発破に必要な火薬装填用の
穴を開けるロックドリル



トンネル工事に用
油圧ブレーカ：
岩盤掘削や発破後の
浮石除去に使用



「トンネル工事」の増加→関連製品の販売・サービス強化



- ・復興道路・復興支援道路(6~7年で開通予定) →トンネル工事総延長 約70km
- ・リニア中央新幹線(品川~名古屋 2027年開通予定) →トンネル工事総延長 約246km(山岳トンネル約130km)
- ・整備新幹線(北海道2035年、北陸2025年、九州2022年開通予定) →トンネル工事総延長 約240km(北海道 約160km、北陸 約37km、九州 約41km)

復興道路・復興支援道路の進捗

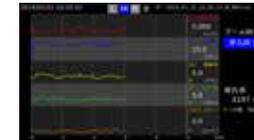
復興道路・復興支援道路の進捗状況

— 既に利用している区間
 - - 今後開通予定の区間
 ●平成25年9月時点

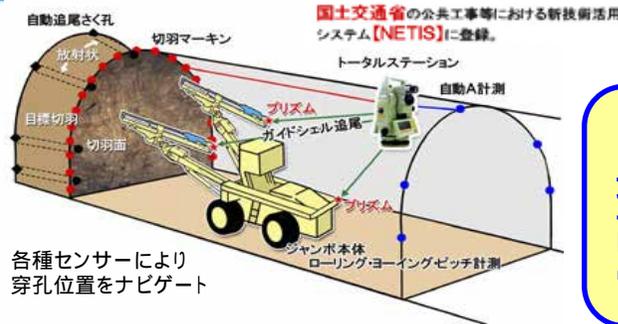


トンネルドリルジャンボの営業・サービス体制強化 2014年6月に宮古出張所開設

- ・ほとんどの現場で当社のトンネルドリルジャンボが稼働中
 →ピーク時には約40台の稼働を見込む
- ・「全断面自動追尾式ナビゲーションシステム」や
 「穿孔データ記録システム」などの新技術の導入



穿孔データを記録しリアルタイムで地質判断可能



リニア中央新幹線、整備新幹線を見据え、最新技術の評価をゼネコン各社から得るべく、高稼働が続く復興道路・復興支援道路での営業・サービス体制強化に努めていく

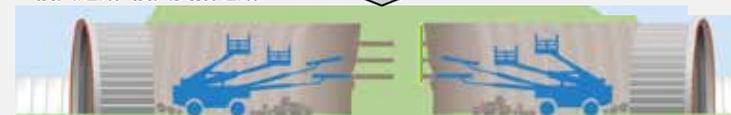
復興道路・復興支援道路のトンネル工事について

復興道路・復興支援道路では、トンネル工事の最先端で使用するトンネルドリルジャンボの台数が過去の工事例と比べ非常に多くなっています。トンネル工事では片側から1台で掘削し、長いトンネルになると両側2台で掘削するのが一般的ですが、ここでは開通を急ぐため1km程度のトンネル工事でも両側2台で掘削するなど、急ピッチで工事が進められています。

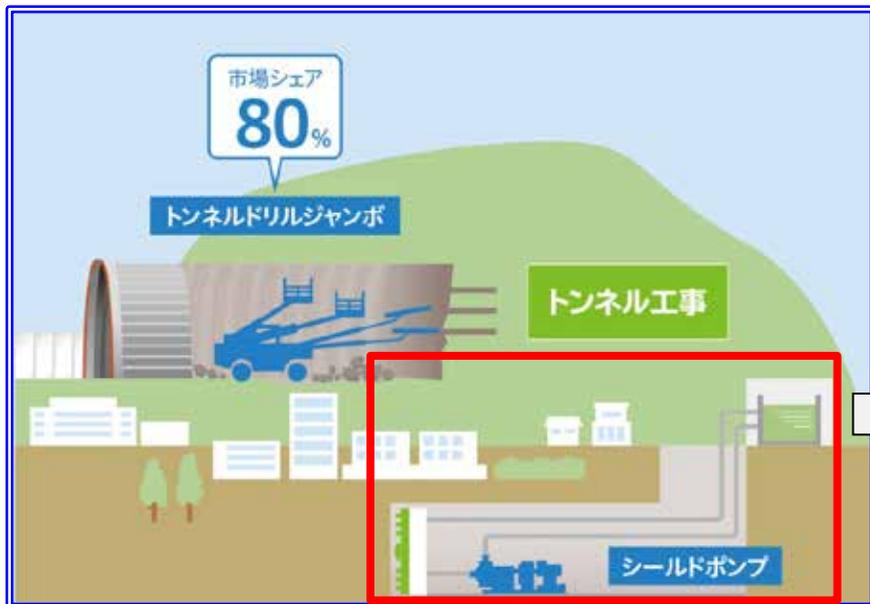
通常



復興道路・復興支援道路



キーワード 「トンネル工事」…道路や鉄道のトンネルを掘る

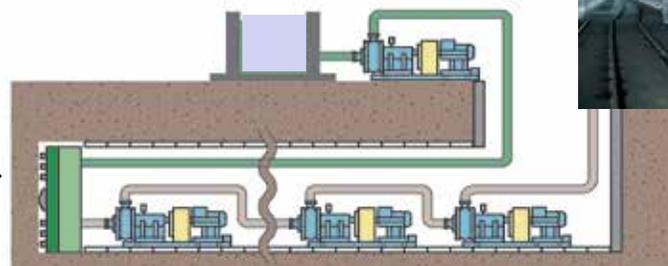


- ・リニア中央新幹線(品川～名古屋 2027年開通予定)
→トンネル工事総延長 約246km(内、地下トンネル約70km)
- ・その他、外環自動車道などの地下トンネル工事も見込まれる



<地下トンネル→シールド工法>

シールドポンプ:
削った土砂を水と一緒に排出するポンプ

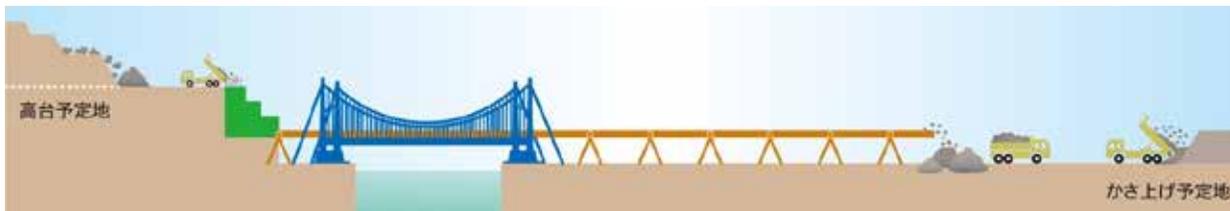


シールド工法による土砂の搬送について

山岳トンネルと違い地盤が軟弱な都市部の地下トンネル工事の場合、シールド工法によって掘削されます。
シールド工法には主に2種類の工法があり、その一つが「泥水式シールド工法」です。シールドマシンで掘削された土砂を水と一緒に圧送する工法で、この場合シールドポンプが使用されます。
もう一つは「土圧式シールド工法」で、この場合は掘削された土砂をベルトコンベアで輸送します。

泥水式シールド工法 →シールドポンプを拡販
土圧式シールド工法 →陸前高田市の高台移転事業で見直されたベルトコンベアの販売を目指す

陸前高田市の高台移転事業



大型破碎設備:

土砂・岩石を300mm以下の大きさに破碎する設備(フィーダ、スクリーン、クラッシャ)が8基。処理能力は8,000t/h。

長距離ベルトコンベア及び吊り橋:

総延長約3kmの長距離ベルトコンベアは、時速15km、搬送能力は6,000t/hを有し、10tダンプによる搬送と比べ工期を1/3に短縮。河川を渡すために設置した吊り橋は「希望のかけ橋」と命名されました。



山を削り、土砂の搬送、盛土によるかさ上げが進む陸前高田市。

鉱山開発で培った破碎・運搬技術、橋梁技術が復興に貢献。設計、製造、据付まで対応できる技術力と総合力が評価された。

陸前高田市の復興事業に貢献

陸前高田市では津波から街を守るため、隣接する山を削って高台を造り、人々が暮らせる環境整備が進められています。

土砂や岩石を破碎する「大型破碎設備」、破碎した土砂・砕石をかさ上げ地に搬送する「長距離ベルトコンベア」、河川対岸にベルトコンベアをわたす「吊り橋」の設計から施工までを当社が担いました。現在はこれらの運転管理も行っており、土砂の搬送、盛土によるかさ上げに貢献しています。早急な復興が求められるなか、来春には土砂の搬送がすべて完了する予定です。



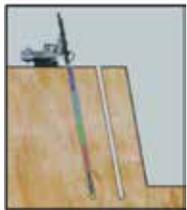
機械の運転管理を行っている中央操作室

キーワード 「コンクリート」・・・原料となる砕石・石灰石を採掘し砕く

コンクリートとは
骨材(砂や砂利)とセメント、水などを混ぜ結合させたもの。
骨材には砕石、セメントには石灰石が含まれます。



ダンプトラックで運ばれた岩石を破碎プラントに投入



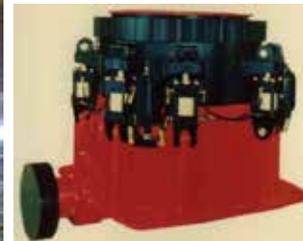
油圧クローラドリル:
岩盤発破に必要な火薬装填用の穴を開ける機械



油圧ブレーカ:
発破後の大きな岩石を小割する油圧ショベルのアタッチメント製品



破碎機(1次):
岩石を小さく砕く



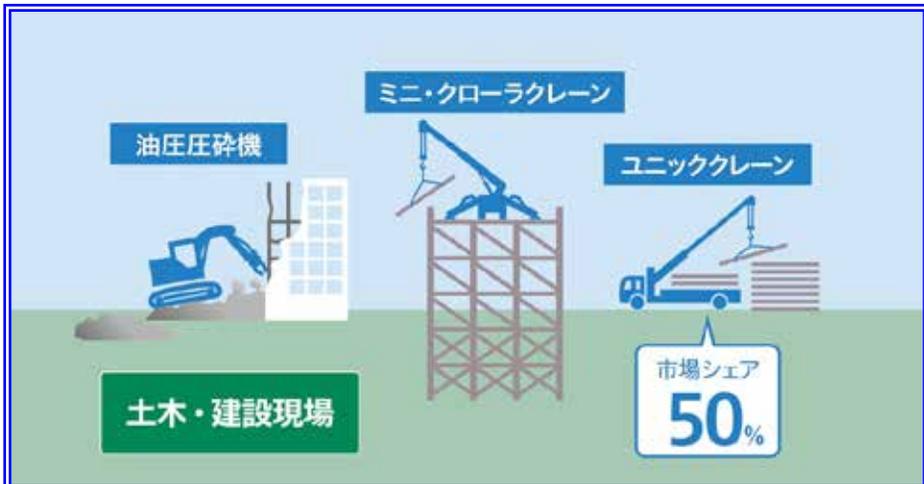
破碎機(2次):
さらに岩石を小さく砕く



スクリーン:
岩石をふるい分けする

**「コンクリート」の需要増→セメント原料の石灰石、骨材となる砕石の需要増
採掘現場やプラントで稼働する各種製品の買換え、部品需要の取り込みを強化**

キーワード 「土木・建設現場」・・・吊る・積む・運ぶ・解体する



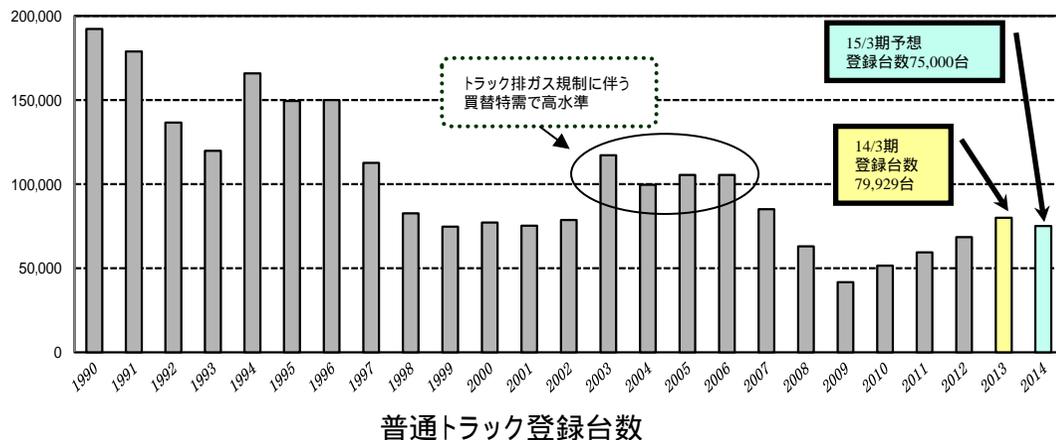
ユニッククレーン:
建築資材などの運搬と
積み降ろし作業が
一台でできる
トラック搭載型クレーン



油圧圧砕機:
コンクリートの解体に使用する
油圧ショベルのアクセサリー製品



ミニ・クローラークレーン:
トラックの入り込めない場所で
作業可能な自走式クレーン



**トラック搭載型クレーンであるユニッククレーンは
普通トラック登録台数にも連動
→10年前特需の買換えも期待され、好調を維持**

**「土木・建設現場」の増加
→建設・解体に関連する各種製品の拡販**

キーワード 「土木・建設現場」・・・橋梁



圏央道の橋梁工事



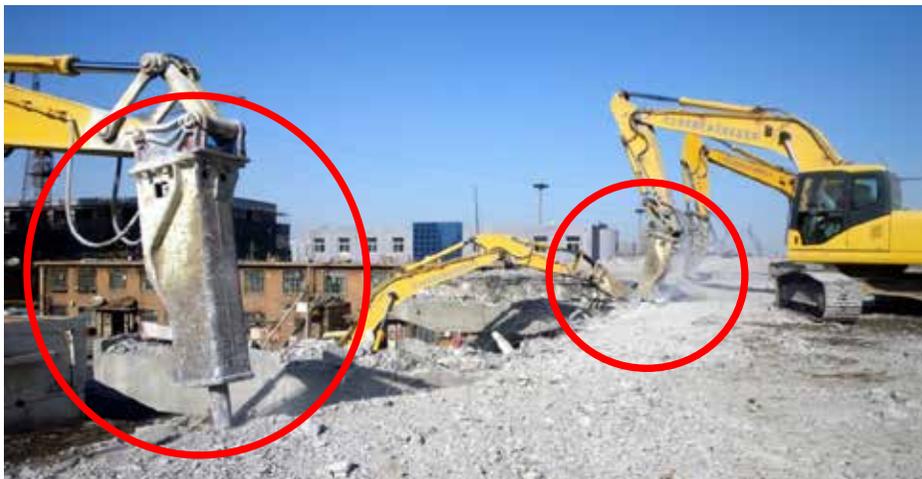
小山工場での仮組の様子

過去の工事物件の表彰により関東地方整備局において
技術点が加算され入札優位に
→優良な橋梁案件の受注目指す

キーワード 「海外」…インフラ整備、鉱山開発向け



鉄鉱石・銅鉱石・石炭・石灰石など各種鉱山や碎石現場では、発破用の穴を掘る油圧クロードリルや大きな岩石を破砕する油圧ブレーカが活躍



岩盤の硬い地域のインフラ整備では、整地作業に油圧ブレーカや油圧クロードリルを使用



大きな市場が見込める海外の
鉱山開発・インフラ整備向けに拡販

キーワード 「海外」・・・土木・建設現場、物流向け



コンパクトで自走可能なミニ・クローラークレーンは、建設現場や屋内の狭いスペースで作業可能なため、欧米を中心に用途開拓が進む



トラック搭載型クレーンのユニックレーンは、新興国を中心に市場開拓

各地域に適した製品で市場開拓を進める

その他事業(不動産事業)



室町古河三井ビルディング(COREDO室町2)



日本橋室町に新ビル開業
 「室町古河三井ビルディング」が2014年2月竣工、3月商業オープン
 当社の持分比率48.49% →不動産事業の新たな収益基盤に

フロア構成

21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
B1



18-21階 賃貸住宅



2-6階 シネマコンプレックス



B1-6階 商業施設
 (COREDO室町2)

日本橋室町と当社との関わり

日本橋室町は、明治10年に創業者・古河市兵衛が本店事務所を開業したいわば当社の発祥の地で、明治30年に丸の内に移転されるまで本拠地としていました。その後、昭和34年には旧古河ビルを建設、そしてこの度の再開発により新ビルが誕生しました。



明治期の本店事務所



旧古河ビル



新ビルの北側の通りには、古河市兵衛の銅像が設置されています。

過去の部門別実績及び業績予想

(売上高)

(単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期(予想)
機械部門	67,795	75,841	62,639	44,313	47,025	53,198	56,852	71,111	70,600
(産業機械)	(14,119)	(17,331)	(15,836)	(12,783)	(10,655)	(12,949)	(12,894)	(18,527)	(17,600)
(開発機械)	(33,046)	(37,497)	(29,427)	(20,386)	(23,880)	(24,143)	(23,305)	(26,842)	(26,700)
(ユニック)	(20,629)	(21,012)	(17,375)	(11,142)	(12,490)	(16,105)	(20,651)	(25,741)	(26,300)
金属部門	84,753	97,519	68,786	71,132	79,979	68,114	77,944	78,684	77,900
電子部門	(9,364)	(8,751)	5,568	5,969	7,147	4,615	4,987	5,381	5,600
化成品部門	(6,538)	(6,525)	5,820	5,025	5,076	5,187	5,093	6,096	6,200
塗料部門(1)				3,692	15,040	14,874	15,078		
不動産部門	2,936	2,758	2,386	2,043	1,577	1,233	1,058	1,013	2,500
燃料部門(2)	28,206	20,735	15,452	9,893	9,004	9,576	3,770		
その他	1,154	1,294	1,204	854	785	766	753	739	700
合計	200,749	213,426	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	163,026	163,500

(営業利益)

(単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期(予想)
機械部門	5,901	6,837	1,733	3,022	566	1,970	2,923	5,333	5,600
(産業機械)	(72)	(837)	(767)	(433)	(29)	(708)	(778)	(1,851)	(1,300)
(開発機械)	(3,120)	(3,702)	(255)	(2,584)	(350)	(333)	(67)	(341)	(1,200)
(ユニック)	(2,708)	(2,297)	(710)	(870)	(186)	(928)	(2,212)	(3,141)	(3,100)
金属部門	8,837	6,206	23	3,224	1,494	308	282	1,503	1,500
電子部門	(1,386)	(984)	4	657	1,279	234	262	123	150
化成品部門	(701)	(470)	201	104	269	251	304	315	330
塗料部門(1)				19	93	329	65		
不動産部門	839	749	706	1,128	635	356	219	43	600
燃料部門(2)	114	430	202	29	56	13	28		
その他	301	228	304	376	92	93	63	60	110
調整額	351	181	264	69	49	60	78	39	70
合計	16,898	14,407	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	6,886	8,000

1: 09/12に㈱トウベを連結子会社化、13/03に㈱トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

2: 12/10に古河コマース㈱の株式譲渡により燃料部門から撤退

注: 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用(11年3月期)により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

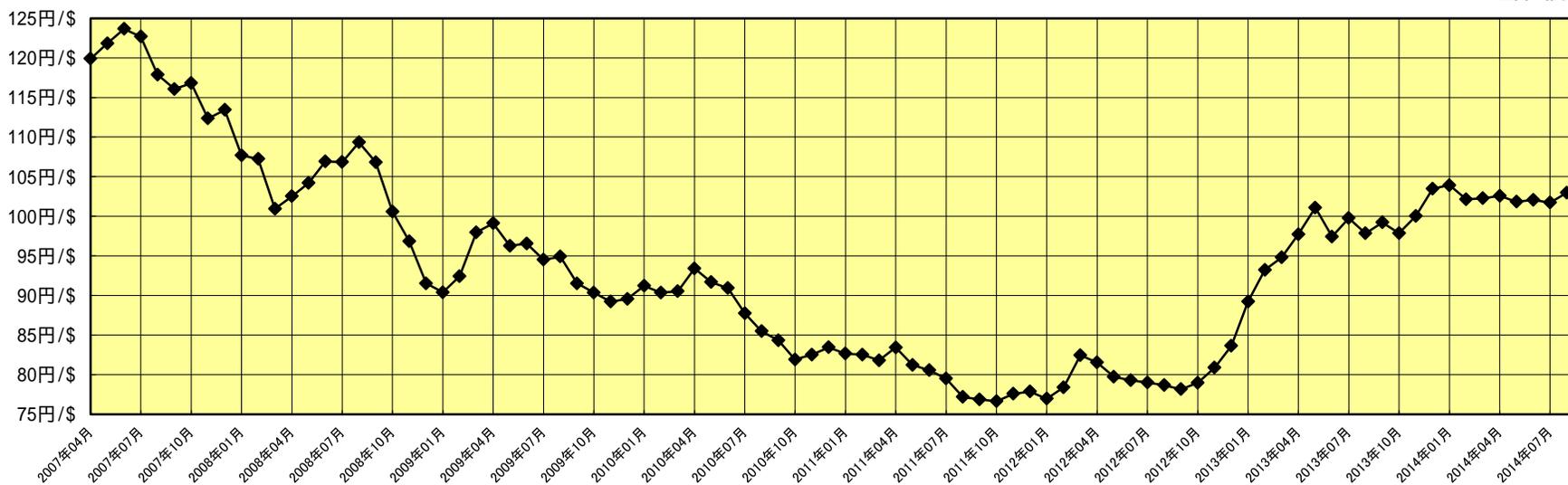
銅価格海外相場推移 (月中平均)

当社調べ



為替相場推移 (月中平均)

当社調べ

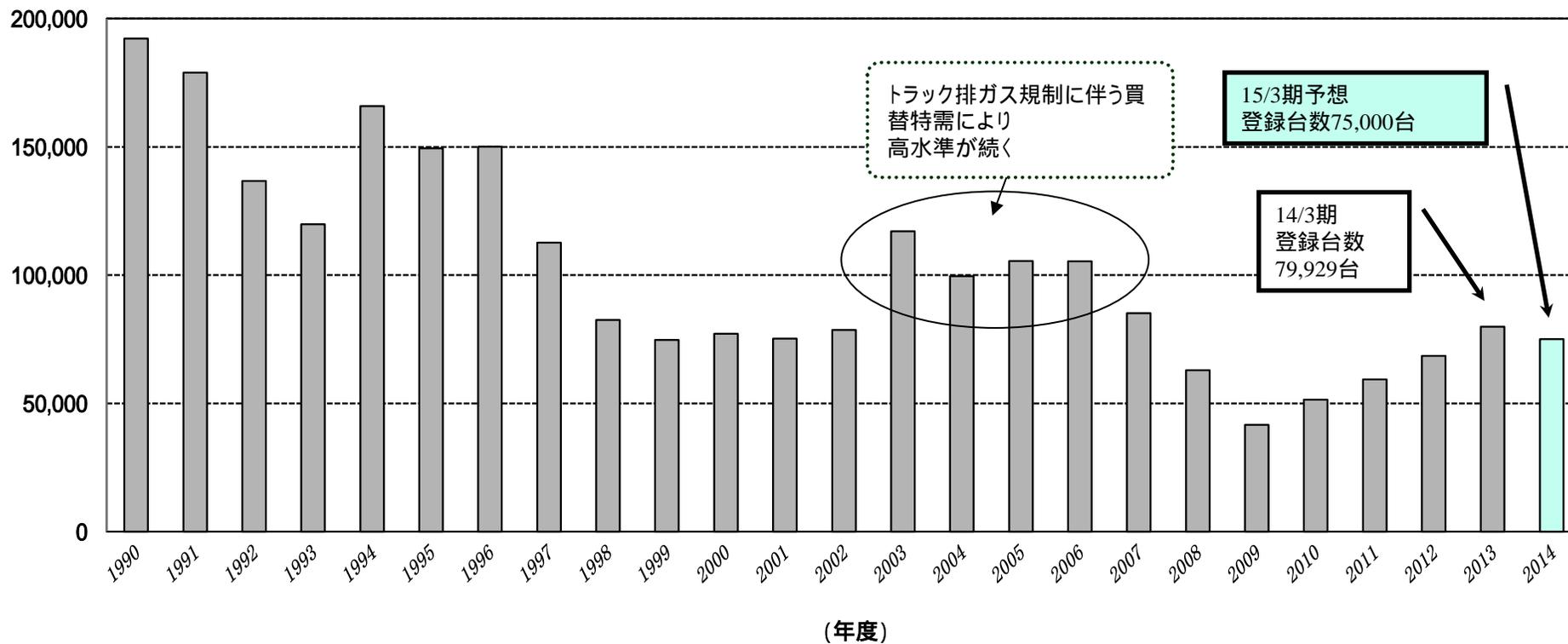


国内普通トラック登録台数推移

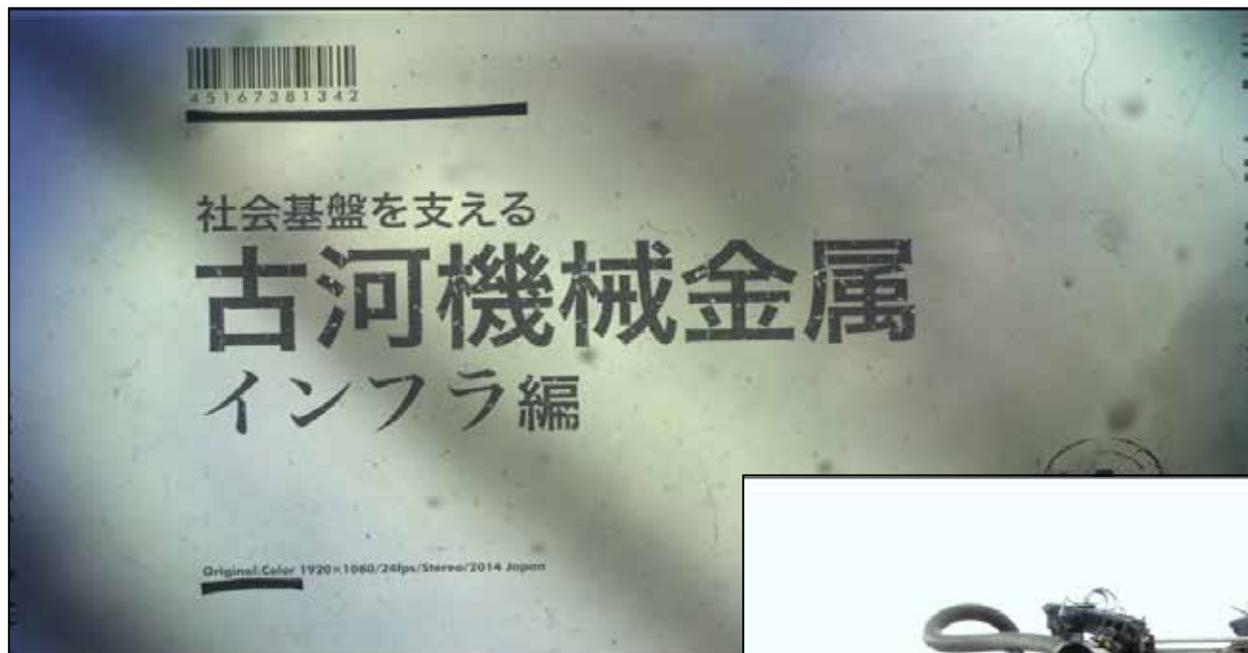
普通トラック登録台数

当社調べ

(単位:台数)



シネマPV「社会基盤を支える古河機械金属 インフラ編」



http://www.youtube.com/watch?v=gTszdxNNG_w

インフラ整備の川上から川下まで当社の製品がどのように関わっているかを紹介したイメージPVです。

採掘現場で活躍する「油圧クローラドリル」や「破碎機」、トンネル工事に不可欠な「トンネルドリルジャンボ」、建設現場でみる赤いクレーンの「ユニック」など、実際の現場で撮影しシネマ化しました。

当社機械事業の理解にお役立て下さい！！



理解促進コンテンツ「5分でわかる！古河機械金属」

FURUKAWA

5分でわかる！ 古河機械金属

これも古河!

製品編 ←

産業の基盤を支え、街のあちこちで人々の暮らしを見守っている古河機械金属の製品たち。その幅広い活躍を紹介します。

- ▶ 都市づくり、インフラ整備に 1
- ▶ 都市づくり、インフラ整備に 2
- ▶ 建設現場、荷役現場、物流に
- ▶ 産業に欠かせない金属、化成品提供
- ▶ IT・エレクトロニクス業界へ貢献
- ▶ 未来を拓く、研究開発

なるほど古河!

歴史編 ←

銅山経営に端を発し、わが国の産業発展に貢献してきた130年以上の歴史ある古河機械金属グループのルーツをたどります。

- ▶ 明治～大正 創業から鉱山経営拡大まで
- ▶ 大正～昭和 多角化の進展
- ▶ 平成～ 世界に羽ばたく古河機械金属グループ





当社の歴史と製品を短い時間でわかりやすく紹介したコンテンツです。

<http://www.furukawakk.co.jp/pdf/others/introduction.pdf>